

みずほマーケット・トピック(2023 年 6 月 9 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

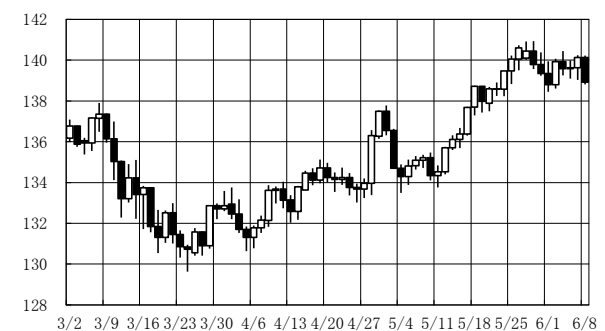
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、軟調な米労働指標を背景に、米金利動向に合わせ下落した。週初5日、140.20円でオープンしたドル/円は、方向感に欠ける中、140円台前半で小動き。海外時間は、米金利上昇に合わせ一時週高値となる140.45円まで上昇も、米5月ISM非製造業景気指数の弱い結果に米金利が低下に転じ、139円台半ばに反落した。6日、ドル/円は139円台半ばでレンジ推移。海外時間は、米金利上昇を受け140円を目指し上昇する展開となった。7日、ドル/円は日本株の軟調推移を背景に139円台前半に下落。海外時間は、139円付近に続落も、カナダ中銀(BOC)が予想に反し+25bpの利上げを実施したことを受け、FRBの利上げ継続期待も高まり米金利は上昇、140円台前半に反転上昇した。8日、ドル/円はリスクオフ相場の中、円が買われ140円を割り込んだ。海外時間は、米新規失業保険申請件数が軟調な結果となり、米金利低下に合わせ138.82円まで下押した。本日のドル/円は、週安値を更新しながらの取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、週後半に米金利低下を受けて上昇した。週初5日、1.0697でオープンしたユーロ/ドルは、軟調な米欧経済指標に振られるも終日方向感を探る展開となり、1.07を挟んだレンジ推移に留まった。6日、ユーロ/ドルは、ECBによる4月消費者インフレ期待調査がインフレ懸念を後退させる内容となり、独金利低下に合わせ一時週安値となる1.0668に下落した。7日、ユーロ/ドルは再度週安値付近に下落も、その後はポンド/ドルの上昇に連れ高となったほか、好調な株式市場の推移を追い風に一時1.07台半ばまで上昇した。引けにかけては、BOCの予想外の利上げを受けたドル買いが重しとなり、1.07付近にほぼ往って来いとなった。8日、ユーロ/ドルは1.07付近での取引が継続していたが、堅調な欧州株式市場や、弱い米経済指標を受けた米金利低下が材料視され、一時週高値となる1.0787を記録した。本日のユーロ/ドルは、引き続き前日の高値付近での取引となっている。

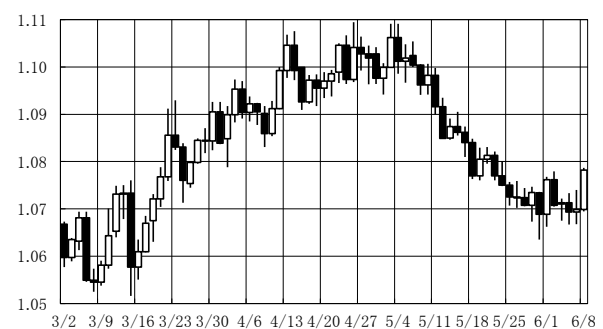
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		6/2(Fri)	6/5(Mon)	6/6(Tue)	6/7(Wed)	6/8(Thu)	
ドル/円	東京9:00	138.72	140.20	139.42	139.52	139.90	
	High	140.07	140.45	139.99	140.25	140.22	
	Low	138.60	139.25	139.10	139.03	138.82	
	NY 17:00	139.98	139.58	139.65	140.16	138.93	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0760	1.0697	1.0712	1.0700	1.0708	
	High	1.0779	1.0722	1.0733	1.0740	1.0787	
	Low	1.0705	1.0675	1.0668	1.0669	1.0698	
	NY 17:00	1.0708	1.0710	1.0693	1.0699	1.0782	
ユーロ/円	東京9:00	149.26	150.00	149.33	149.31	149.80	
	High	149.95	150.18	149.68	150.02	150.04	
	Low	149.26	149.24	148.87	148.63	149.62	
	NY 17:00	149.83	149.45	149.35	149.95	149.75	
日経平均株価		31,524.22	32,217.43	32,506.78	31,913.74	31,641.27	
TOPIX		2,182.70	2,219.79	2,236.28	2,206.30	2,191.50	
NYダウ工業株30種平均		33,762.76	33,562.86	33,573.28	33,665.02	33,833.61	
NASDAQ		13,240.77	13,229.43	13,276.42	13,104.90	13,238.52	
日本10年債		0.41%	0.43%	0.42%	0.41%	0.43%	
米国10年債		3.70%	3.69%	3.68%	3.79%	3.72%	
原油価格(WTI)		71.74	72.15	71.74	72.53	71.29	
金(NY)		1,969.60	1,974.30	1,981.50	1,958.40	1,978.60	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、13日(火)～14日(水)にFOMCが開催される。5月会合では+25bpの利上げを決定した。声明文では、利上げ停止が示唆された。「追加の政策措置が適切」との表現が削除され、「追加策がどの程度必要か決定する際には、これまでの金融引き締めの一時的な効果や経済や物価に時間差で与える影響を考慮」との表現が挿入。パウエルFRB議長も会見で利上げ停止を示唆した。ただし、データ次第では利上げ再開もいとわない姿勢も示した。他方、年内利下げ観測に関しては一蹴。今回会合では、複数のFRB高官が利上げの見送りを支持したこともあり、政策金利の据え置きを予想する向きが優勢だ。ただ、会合直前には米5月消費者物価指数の公表もあり、市場の利上げ予想も大きく上下する可能性がある。加えて、新たに更新されるドットチャートに加え、スタッフ経済見通しにも注意を払いたい。3月会合時点においては、本年末の政策金利見通し(中央値)を5.125%としており、これは現行の水準と一致する。これに変化があれば、追加利上げもしくは年内利下げ検討のシグナルと解釈されるだろう。
- 欧州では、15日(木)にECB政策理事会が開催される。5月会合では、預金ファシリティ金利を+25bp引き上げた。声明文では、「インフレ率の目標回帰のために、政策金利を十分に抑制的な水準に導き、必要な限りその水準を維持する」としており、決定はデータ依存と強調。ただ、ラガルドECB総裁は「インフレの見通しはあまりにも長く、高すぎる状況」「利上げはやめない」としており、利上げ継続路線は変わらない。足許では5月ユーロ圏消費者物価指数(速報)の鈍化を受け、利上げ長期化懸念は若干後退したようにも感じられるが、ひっ迫した雇用・賃金情勢が緩和されない以上、利上げ停止は決定されないだろう。現状、6、7月の利上げ継続は既定路線としても、9月利上げも排除できないと判断したい。

	本 邦	海 外
6月9日(金)	_____	_____
12日(月)	・5月国内企業物価指数 ・5月工作機械受注(速報)	_____
13日(火)	_____	・独6月ZEW景気期待指数 ・米5月消費者物価指数 ・米FOMC(14日まで)
14日(水)	_____	・ユーロ圏4月鉱工業生産 ・米パウエルFRB議長会見 ・米5月生産者物価指数
15日(木)	・5月貿易収支 ・4月コア機械受注 ・日銀金融政策決定会合(16日まで)	・ユーロ圏ECB政策理事会 ・米5月小売売上高 ・米5月輸出/輸入物価指数 ・米5月鉱工業生産
16日(金)	・植田日銀総裁会見	・ユーロ圏5月消費者物価指数(確報) ・米6月ミシガン大学消費者マインド(速報)

【当面の主要行事日程(2023年6月～)】

FOMC(6月13～14日、7月25～26日、9月19～20日)

ECB政策理事会(6月15日、7月27日、9月14日)

日銀金融政策決定会合(6月15～16日、7月27～28日、9月21～22日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年6月8日	本邦4月国際収支統計を受けて～「新しい赤字」の影～
2023年6月7日	ユーロ圏のインフレ期待について～6月会合プレビュー～
2023年6月6日	「弱い円」への諦観は日本人を動かすか？
2023年6月5日	米5月雇用統計を受けて～遅か遠のく年内利下げ～
2023年6月2日	週末版(コアベースでも鈍化し始めたユーロ圏インフレ率～ハト派転化には十分と言えず～)
2023年6月1日	FRB、6月利上げ見送りの受け止め方～円高到来か？～
2023年5月30日	ユーロ圏の賃金・物価情勢～賃金は峠、エネルギー環境は脆弱～
2023年5月26日	週末版(32年連続世界最大の対外純資産国の意味～過去最高を記録した直接投資比率～)
2023年5月24日	構造的に薄れるPPPを見る意味～「成熟した債権国」と共に～
2023年5月23日	「世界中が欲しがる財・サービス」は「高嶺の花」～「弱い円」の価値～
2023年5月22日	資産価格が上がっているのか、円が下がっているのか
2023年5月19日	週末版
2023年5月18日	1～3月期GDPを受けて～ペントアップ需要を阻む円安～
2023年5月17日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年4月分)
2023年5月16日	4月国内企業物価指数を受けて～変化率と水準の違い～
2023年5月15日	新しい外貨流出源～デジタル・コンサル・研究開発～
2023年5月12日	週末版(米連邦債務上限問題について～政府機関閉鎖は一時的な円高材料に～)
2023年5月11日	3月国際収支統計を受けて～インバウンドの功罪～
2023年5月9日	ECB政策理事会を終えて～持続する利上げ路線～
2023年5月8日	FOMCを終えて～利上げ停止でも円安持続という現実～
2023年5月2日	円相場の現在地～下がり続ける購買力、最強通貨はフランに～
2023年5月1日	植田体制初会合のレビューと円相場への影響
2023年4月28日	週末版
2023年4月26日	ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理
2023年4月25日	日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～
2023年4月24日	ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー
2023年4月21日	週末版(インバウンドの現状と展望～量、質ともに復調しつつあるインバウンド需要～)
2023年4月20日	本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～
2023年4月18日	EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～
2023年4月17日	GFSRも重要性を訴える地経学的な思考
2023年4月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年3月分)
2023年4月12日	週末版(FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見通しへの影響はあるか？～)
2023年4月11日	変わる直接投資とスローバライゼーション(slowbalization)
2023年4月10日	植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意
2023年4月7日	第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～
2023年4月6日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～)
2023年4月4日	次の危機はCRE危機か？～ECBの警鐘～
2023年4月3日	日銀短観3月調査を受けて～深刻さ極まる人手不足～
2023年3月31日	ユーロ圏3月消費者物価指数(HICP)の読み方
2023年3月30日	週末版
2023年3月28日	第1四半期の総括と今後の展望～円高高まらず～
2023年3月24日	ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年3月23日	週末版(鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～)
2023年3月22日	FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～
2023年3月17日	年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～
2023年3月16日	退路を断ったECB～自信の誇示を優先～
2023年3月15日	週末版
2023年3月14日	ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～
2023年3月13日	企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～
2023年3月10日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年2月分)
2023年3月8日	先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～
2023年3月7日	SVB破綻、ドル/円相場見通しへの影響
2023年3月6日	週末版(1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～)
2023年3月3日	1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～
2023年3月2日	FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～
2023年3月1日	日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望
2023年2月28日	週末版(賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～)
2023年2月27日	ECBのバランスシート政策について～状況整理～
2023年2月24日	植田総裁候補の所信聴取を受けて
2023年2月21日	週末版
2023年2月20日	利上げ減速のイメージが湧かないユーロ圏
2023年2月17日	現実味増すインフレ長期化～円安シナリオの再起動～
2023年2月15日	週末版(本邦1月貿易統計を受けて～史上最大、再び～)
2023年2月14日	本邦10～12月期GDP～3年経ってもコロナ前～
2023年2月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年1月分)
2023年2月10日	日銀、植田新体制への所感～Q&A方式での整理～
2023年2月9日	日銀、植田新体制への所感～理想から現実へ～
2023年2月8日	週末版
2023年2月7日	ユーロ圏、インフレ期待の現状～pivotは支持されず～
2023年2月6日	2022年の国際収支統計を受けて～意外な伏兵～
2023年2月3日	日本はドイツに追い抜かれてしまうのか～何が違うのか～
2023年2月2日	IMF見直し昇修正と為替見通しの関係について
2023年1月30日	週末版(ECB政策理事会を終えて～顕著に改善するユーロ相場の取引環境～)
2023年1月27日	FOMCを終えて～ドル/円見通しに影響なし～
2023年1月25日	23年、最初の1か月を終えて～言うほど進まないドル安～
2023年1月24日	週末版(当面のECBの金融政策運営の考え方～「追い風」を得てタカ派に持続性～)
2023年1月23日	神風に救われたユーロ圏経済～最悪からの復活？～
2023年1月20日	「投機の円買い」vs「実需の円売り」の行方
2023年1月19日	日銀タカ派とFRBハト派の併存は可能なのか？
2023年1月18日	週末版(史上最大の貿易赤字をどう捉えるか～輸入増加の次は輸出減少に？～)
2023年1月16日	日銀政策決定会合を受けて～現状維持とも言い切れず～
2023年1月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2022年12月分)
2023年1月10日	懸念されるユーロ圏のインフレ～コアは加速中～
2023年1月8日	日銀は本当に動くのか？～当面の展開を整理～
2023年1月5日	週末版(依然残る日本の閉鎖性～入国規制とインバウンド需要～)
2023年1月4日	米12月雇用統計を受けて～無理筋なハト派解釈～
2022年12月23日	週末版
2022年12月21日	FOMC議事要旨を受けて～23年利下げへの支持はゼロ～
2022年12月20日	2023年展望の「重要な前提」と「パス」のおさらい
2022年12月19日	週末版(史上最大の円安の年を終えて～円高を「押し目」とする視座～)
2022年12月18日	日銀の政策修正に関する論点整理～日銀Pivot～
2022年12月17日	米インフレ急減速を当然視する風潮は大丈夫なのか
2022年12月16日	円安で注目したい対内直接投資のポテンシャル